

平成 27 年 4 月 23 日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業 H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1. 実施の経緯及び事業の概要

国土交通省の所管する国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市、大町市）の運営維持管理業務については、公共サービス改革基本方針（平成 24 年 7 月 20 日閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて国土交通省は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

(1) 業務内容等

事 項	内 容
業務内容	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務 1) マネジメント 2) 企画運営管理 ②施設・設備維持管理業務 1) 維持修繕・保守点検 2) 清掃 ③植物管理業務 ④収益施設等管理運営業務
契約期間	平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの 3 年
受託事業者	H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務アルプスあづみの公園マネジメント共同体 代表企業：一般財団法人公園財団 構成企業：大北農業協同組合、ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社
契約金額（税抜）	1, 194, 000, 000 円 平成 25 年度：390, 057, 626 円 平成 26 年度：386, 905, 044 円 平成 27 年度：417, 037, 330 円

(2) 実施にあたり確保されるべき質

区分	達成すべき質
包括的な質	<p>公園利用者数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園利用者数 <ul style="list-style-type: none"> 堀金・穂高地区：年間 258,000人以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 50,000人以上、第2四半期 68,000人以上、 第3四半期 124,000人以上、第4四半期 14,000人以上 大町・松川地区：年間 147,000人以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 34,000人以上、第2四半期 48,000人以上、 第3四半期 37,000人以上、第4四半期 27,000人以上 <p>【補正後】公園利用者数の確保 ※</p> <ul style="list-style-type: none"> 大町・松川地区：年間 143,000人以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 34,000人以上、第2四半期 44,000人以上、 第3四半期 37,000人以上、第4四半期 27,000人以上
	<p>利用者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公園の運営」に関する利用者の「満足」の回答比率 <ul style="list-style-type: none"> 堀金・穂高地区：年間 50%以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 45%、第2四半期 50%、 第3四半期 55%、第4四半期 55% 大町・松川地区：年間 60%以上 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期 65%、第2四半期 55%、 第3四半期 65%、第4四半期 55% 本公園の花修景に関わる利用者の「満足」の回答比率 <ul style="list-style-type: none"> 堀金・穂高地区：年間 60%以上 大町・松川地区：年間 55%以上
	<p>情報受発信</p> <ul style="list-style-type: none"> マスコミによる報道件数：年間 1,176件以上 ホームページ総アクセス数：年間 530,000件以上
	<p>多様な利用プログラムの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区別の年間体験プログラムの開催種類・延べ参加人数 <ul style="list-style-type: none"> 堀金・穂高地区：年間 41種類以上、14,000人以上 大町・松川地区：年間 55種類以上、23,000人以上
個別業務の質	<p>① 本業務全体のマネジメント及び企画立案業務</p> <p>1) マネジメント 多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し、適切な進捗管理が行われていること。 また、入園料の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。</p> <p>2) 企画運営管理 公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。</p>

個別業務の質 (続き)	<p>② 施設・設備維持管理業務</p> <p>1) 維持修繕・保守点検 建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。</p> <p>2) 清掃 快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。</p>
	<p>③ 植物管理業務</p> <p>本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。</p>
	<p>④ 収益施設等管理運営業務</p> <p>公園利用者へのサービス向上を目的とし、公園管理の包括的・統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。</p>

※受託事業者の運営維持管理の責任に抛らない風水害その他の事由（平成 26 年度第 2 四半期以降におけるクマの大量出没、御嶽山の噴火、長野県神城断層地震の発生など）により、確保されるべき質の達成に影響を与える状況が生じたため、当該事由を考慮した新たな目標を設定した。

2. 受託事業者決定の経緯

入札参加者 4 者から提出された企画書について審査した結果、いずれも評価基準を満たしていた。平成 24 年 11 月 22 日に開札をした結果、いずれも予定価格の制限の範囲内であったことから、当該 4 者について総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

II 評価

1. 評価方法について

国土交通省から提出された平成 25 年 4 月から平成 26 年 12 月までの間の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

2. 対象公共サービスの実施内容に関する評価

(1) 対象公共サービスの質についての実施状況

ア 包括的な質

本事業において設定された確保されるべき包括的な質に係る実施状況は次のとおりである。

主要事項	項目	目標値	実施結果		
			平成 25 年度	平成 26 年度 (4~12 月)	
公園利用者数の確保	地区別の年間及び四半期ごとの公園利用者数（堀金・穂高地区）	年間 258,000 人以上	217,197 人	193,759 人	
		第 1 四半期 50,000 人以上	50,432 人	63,960 人	
		第 2 四半期 68,000 人以上	55,445 人	59,903 人	
		第 3 四半期 124,000 人以上	93,465 人	69,896 人	
		第 4 四半期 14,000 人以上	17,855 人	—	
	【補正後】地区別の年間及び四半期ごとの公園利用者数（大町・松川地区）	年間 143,000 人以上	138,433 人	111,954 人	
		第 1 四半期 34,000 人以上	39,305 人	39,286 人	
		第 2 四半期 44,000 人以上	42,875 人	37,397 人	
		第 3 四半期 37,000 人以上	27,446 人	35,271 人	
		第 4 四半期 27,000 人以上	28,807 人	—	
利用満足度の向上	「公園の運営」に関する利用者の「満足」の回答比率（堀金・穂高地区）	年間 50%以上	63.7%	70.1%	
		第 1 四半期 45%以上	65.2%	70.5%	
		第 2 四半期 50%以上	63.7%	68.4%	
		第 3 四半期 55%以上	58.4%	71.3%	
		第 4 四半期 55%以上	67.6%	—	
	「公園の運営」に関する利用者の「満足」の回答比率（大町・松川地区）	年間 60%以上	60.0%	68.5%	
		第 1 四半期 65%以上	60.9%	68.7%	
		第 2 四半期 55%以上	64.9%	67.3%	
		第 3 四半期 65%以上	66.2%	69.6%	
		第 4 四半期 55%以上	48.0%	—	
	本公園の花修景に関わる利用者の「満足」の回答比率（堀金・穂高地区）	年間 60%以上	62.6%	69.8%	
		年間 55%以上	60.6%	72.9%	
	情報受発信	マスコミによる報道件数	年間 1,176 件以上	1,824 件	1,524 件
		ホームページ総アクセス数	年間 530,000 件以上	586,540 件	538,585 件
多様な利用プログラムの提供	利用プログラムの開催種数と参加人数（堀金・穂高地区）	年間開催種類 41 種以上	68 種	81 種	
		延べ参加人数 14,000 人以上	14,876 人	43,238 人	
	利用プログラムの開催種数と参加人数（大町・松川地区）	年間開催種類 55 種以上	81 種	84 種	
		延べ参加人数 23,000 人以上	27,338 人	26,680 人	

※アンケート調査は、国土交通省関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所が対面式で実施。

イ 個別業務の質

国土交通省の調査職員において、個別業務の質に関する履行確認を行っている。平成 26 年 12 月現在、管理月報により計画通りの履行を確認している。

(2) 評価

公園利用者数に関して、平成 25 年度の目標を達成できなかった要因としては、平成 23 年度上半期に放映された安曇野を舞台とするテレビドラマによる誘客効果が無くなってきたことや、受託事業者の交代が発生した際に業務の引継ぎに混乱があったことなどが挙げられるが、国土交通省は実施要項の規定に基づき、適切に業務を行うよう受託事業者に指導を行った。

これにより、平成 25 年度第 4 四半期から平成 26 年度第 1 四半期にかけて目標を上回るなど、公園利用者数の改善傾向がみられたところであるが、平成 26 年度第 2 四半期以降については、公園及び周辺地域におけるクマの大量出没、御嶽山の噴火、長野県神城断層地震の発生などの影響により、第 2 及び第 3 四半期において、再び目標を下回った。これを受けて受託事業者においては、業務改善計画書において、首都圏鉄道会社とのタイアップや周辺自治体・観光協会等の連携など新たな広報活動の展開や、利用客に好評なイベントの期間延長、話題性のあるイベント等の実施を計画しており、第 4 四半期においても、公園利用者数のさらなる獲得に向けた取り組みを進めていることから、今後改善が見込まれる。

一方で、利用者満足度、マスコミによる報道件数、ホームページ総アクセス件数及び多様な利用プログラムの提供については、平成 25 年度においては概ね目標値を大幅に上回っており、平成 26 年度においても第 3 四半期までの実績ですでに目標を達成している。

(3) 民間事業者からの提案による改善実施事項

民間事業者からの改善提案に基づき以下の事項が着実に実施されたことから、民間事業者による創意工夫が発揮できたと評価できる。なお以下の提案については、毎月開催される事業連絡会議（調査職員と受託事業者との定例の意見交換の場）等で調整を行い、利用者サービスの向上に努めている。

① さとやま楽校

堀金・穂高地区里山文化ゾーンの開園にあわせ実施するプログラムとして企画提案され、本年度はプレイベントとして実施している。安曇野の里山で育まれた文化・伝統を楽しみながら学ぶプログラムで、昭和 30 年代の安曇野の風土・文化の継承に寄与しているところ。プログラムは 3 種類あり、安曇野の里山保全について学ぶ「さとやま発展講座」（全 13 回）、安曇野の天蚕について学ぶ「やまこの学校」（全 6 回）、米作りや昔ながらの田園風景づくりを整備予定区域内で行う「田んぼの教室」（全 6 回）を計画し本年度 12 月末時点で、「さとやま発展講座」（全 13 回中 12 回実施 のべ 140 名参加）、「やまこの学校」（全 6 回中 6 回実施 のべ 75 名参加）、「田んぼの教室」（全 6 回中 6 回実施 のべ 65 名参加）となっている。

② 熱気球係留飛行搭乗体験イベント

現行業務受託事業者側からの提案により本年度 7 月 19 日（土）から 11 月 16 日（日）まで実施したものの。

大町・松川地区周辺に広がる樹海と北安曇の田園風景を熱気球上から楽しんでいただく体験イベントで、のべ 2,830 人の方にご利用いただいた。

本イベントの開催にあたっては、ツアー行程に本イベントを組み込んでいただくため、ツアー企画会社への PR のほか、周辺宿泊施設への宿泊と一体化したパック企画の実施を観光協会に要請し、安曇野市、大町市の 8 つの宿泊施設に協力いただくことができ、地域との連携や観光振興にも寄与

したところ。

③ 広報の展開

集客が見込まれる春イベントやゴールデンウィークの広報を早期に実施してきた。また、ゴールデンウィークに関しては、直前での新聞折り込み(県内 32 万世帯)や、地元紙への情報掲載などを実施してきた、その結果 5 月の入園者数は、堀金・穂高地区で 46,175 人(前年度比:12,071 人増)、大町・松川地区で 26,940 人(前年度比:500 人増)となった。その後の広報でも、首都圏鉄道会社とのタイアップなど積極的な広報を展開している。

④ イベントの強化

安曇野の地域文化を学習・体験する場とした「さとやま楽校」を実施したほか、公園が有する資源を活用したプログラムや地域の歳時記に関する体験イベントを充実させている。

3. 実施経費に関する評価

契約額(平成 25 年度～27 年度分)は 1,194,000 千円(税抜)であり、平成 25 年度における委託費の支払額(契約額と同額)は、390,057 千円(税抜)であり、平成 24 年度の実施経費(民間事業者への支払額)536,188 千円(税抜)と比較して、146,130 千円(27.2%)の削減となっており、経費の削減が図られていると評価できる。

(参考)

従来費用(A) : 536,188 千円(平成 24 年度実施経費・税抜)

実施経費(B) : 390,057 千円(平成 25 年度実施経費・税抜)

削減額(C) : 146,130 千円(A-B)

削減率(C/A×100) = 27.2%

4. 評価のまとめ

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された質については、平成 25 年度及び平成 26 年度の 2 か年間を総括して見ると、公園利用者数について目標を下回っているものの、受託事業者の責めによらない事情を除いて、要因を分析した上ですでに対応策を実施していること、また、その他の項目については目標を達成していることから、全体として概ね目標を達成していると評価できる。

また、民間事業者の自らの改善提案に基づき、「さとやま楽校」や「熱気球係留飛行搭乗体験イベント」など各種イベントを積極的に導入し、来園者の増加に寄与していることは、民間事業者の創意工夫が発揮され、当公園の魅力を一層高めたとして評価できる。

実施経費についても、27%の経費削減が図られており、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されたものと評価できる。

5. 今後の方針

本事業の市場化テストは今期が 1 回目であり、事業全体を通じての実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中に受託民間事業者への業務改善指示等の措置はなく、また法令違反行為等もなかった。
- ② 国土交通省関東地方整備局内に設置されている外部有識者で構成された「国営公園運営維持管

理業務有識者委員会」において、事業実施状況のチェックを受けることとしている。

- ③ 入札において4者の応札があり、競争性は確保されていた。
- ④ 確保されるべき公共サービスの質において、ほぼ全ての目標を達成していた。
- ⑤ 経費削減において、従来経費からの削減率27.2%の効果を上げていた。
- ⑥ 次期事業の実施要項については、従来の実施要項の内容を承継する見込みであり、入札条件等の大幅な見直しの必要はないものである。

また、国土交通省では、次期事業の実施に当たり、これまで以上の質の維持向上と一層の民間事業者の参入促進を目指して、事業実施期間の延長、多客期（4月～5月）を考慮した事業開始時期の工夫、業務の引き継ぎ事項の充実、業務評価の導入及び業務実績に関する要件の緩和等さまざまな改善策を講じることとしている。このように弛まない改善を図ることにより、更なる成果が得られるものと考えられる。

以上のことから、本事業については「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅲ.1の基準に基づき新プロセスに移行した上で、事業を実施することが適当と考えられる。

以上

平成 27 年 3 月 13 日
国 土 交 通 省

民間競争入札実施事業

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務の実施状況について

1. 事業概要

(1) 委託業務内容

国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市、大町市）における運営維持管理業務

- ①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務
 - 1) マネジメント
 - 2) 企画運営管理
- ②施設・設備維持管理業務
 - 1) 維持修繕・保守点検
 - 2) 清掃
- ③植物管理業務
- ④収益施設等管理運営業務

(2) 業務委託期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（3 か年）

(3) 受託事業者

H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務

アルプスあづみの公園マネジメント共同体

代表企業：一般財団法人公園財団

構成企業：大北農業協同組合、ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社

(4) 受託事業者決定の経緯

「H25-27 国営アルプスあづみの公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」（以下、「実施要項」という。）に基づき、入札参加者（4 者）から提出され、いずれも評価基準を満たしていた。

入札価格については、11 月 22 日に開札した結果、4 者が予定価格の範囲内であったことから、この 4 者について総合評価を行ったところ、上記の者が落札者となった。

2. サービスの質の達成状況等（平成 25 年 4 月分～平成 26 年 12 月分）

本業務においては、実施要項により、サービスの質として、「包括的な質」と「個別業務の質」を設定しているところである。

このサービスの質について達成状況を確認するため、実施要項に記載された方法により実施したモニタリング調査の結果等について報告する。

(1) 包括的な質

1) 公園利用者数の確保

①本公園の年間及び四半期ごとの公園利用者数

ア 達成すべき質

【当初の達成すべき質】

- ・公園利用者数

堀金・穂高地区：年間 258,000 人以上

第 1 四半期 50,000 人以上、第 2 四半期 68,000 以上、

第 3 四半期 124,000 人以上、第 4 四半期 14,000 人以上

大町・松川地区：年間 147,000 人以上

第 1 四半期 34,000 人以上、第 2 四半期 48,000 人以上、

第 3 四半期 37,000 人以上、第 4 四半期 27,000 人以上

【補正後の達成すべき質】

平成 26 年度

- ・公園利用者数

堀金・穂高地区：年間 258,000 人以上

第 1 四半期 50,000 人以上、第 2 四半期 68,000 以上、

第 3 四半期 124,000 人以上、第 4 四半期 14,000 人以上

大町・松川地区：年間 143,000 人以上^{※1}

第 1 四半期 34,000 人以上、第 2 四半期 44,000 人以上^{※1}、

第 3 四半期 37,000 人以上、第 4 四半期 27,000 人以上

※1 当初の達成すべき質(大町・松川地区：年間 147,000 人以上、第 2 四半期 48,000 人以上)からクマ出没による臨時閉園期間(7/5, 7/9~7/16)の、同地区の平均利用者数を考慮した数値。

イ 結果

- ・達成状況は、表 1-1 および表 1-2 のとおりであり、平成 25 年度の達成すべき質は、堀金・穂高地区で 84%、大町・松川地区で 94%、平成 26 年度の達成すべき質においても、第 3 四半期までで堀金・穂高地区は 80%、大町・松川地区は 94% (補正後の達成すべき質においては 97%) であり、目標を若干下回っている。
- ・平成 25 年度は、年間の達成目標を約 1 割強下回っており、実施要項の規定に基づき、適切に業務を行うよう調査職員は受託事業者に指導を行った。平成 25 年度の公園利用者の減少要因として、平成 23 年度上半期に放映された安曇野を舞台とするテレビドラマ (堀金・穂高地区計画地内にもロケセットが設置されていた) による誘客効果が無くなってきたことや公園利用者数の目標設定の際に平成 23 年度のように通常よりも公園利用者数が多い特殊な年を組み込んでいたこと等も要因と考えられるが、受託事業者は、未達成の主な要因として、受託事業者の交代が発生した際に業務の引継ぎに混乱があり、多くの公園利用者が見込める第 2 四半期、第 3 四半期に向けた効果的な広報宣伝が行えなかったことを挙げたうえで、業務改善計画書に、計画的なイベント企画と新聞折り込み等を活用した広報改善などを計画した。
- ・上記の改善策を実施することで、平成 25 年度第 4 四半期から平成 26 年度第 1 四半期に

かけて目標を上回るなど、公園利用者数の改善傾向がみられたところである。

- ・しかしながら、平成26年度第2四半期以降については、7月から11月にかけて公園及び周辺地域におけるクマの大量出没、同9月には御嶽山の噴火、同11月には長野県神城断層地震が発生し、これらの影響により、第2～第3四半期の公園利用者数は目標を下回った。受託事業者は、未達成の理由として、これらの影響をあげた上で加えて、最も集客を見込んだ12月に、長野県において全県的な低温傾向と例年に無い積雪があったことのほか、持ち込みの大型イベントが主催者側の都合により開催されなかったことを挙げた上で、業務改善計画書において、首都圏鉄道会社とのタイアップや周辺自治体・観光協会等の連携など新たな広報活動の展開や、利用客に好評なイベントの期間延長、話題性のあるイベント等の実施を計画した。これらをふまえ、第4四半期においても、公園利用者数のさらなる獲得に向けた取り組みを進めている。

【当初の達成すべき質】

表1-1 地区別の年間及び四半期ごとの公園利用者数

	達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
		利用者数	達成率	利用者数	達成率 ³⁾
堀金・穂高地区	年間：258,000人以上	217,197人	84%	193,759人	80%
	第1四半期：50,000人以上	50,432人	101%	63,960人	128%
	第2四半期：68,000人以上	55,445人	81%	59,903人	88%
	第3四半期：124,000人以上	93,465人	75%	69,896人	56%
	第4四半期：14,000人以上	17,855人	128%	人	%
大町・松川地区	年間：147,000人以上	138,433人	94%	111,954人	94%
	第1四半期：34,000人以上	39,305人	116%	39,286人	116%
	第2四半期：48,000人以上	42,875人	89%	37,397人	78%
	第3四半期：37,000人以上	27,446人	74%	35,271人	95%
	第4四半期：27,000人以上	28,807人	107%	人	%

1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間

2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

3) 第3四半期までの達成率

【補正後の達成すべき質】

表1-2 地区別の年間及び四半期ごとの公園利用者数

	達成すべき質	平成26年度 ⁴⁾	
		利用者数	達成率 ⁵⁾
堀金・穂高地区	年間：258,000人以上	193,759人	80%
	第1四半期：50,000人以上	63,960人	128%
	第2四半期：68,000人以上	59,903人	88%
	第3四半期：124,000人以上	69,896人	56%
	第4四半期：14,000人以上	人	%
大町・松川地区	年間：143,000人以上	111,954人	97%
	第1四半期：34,000人以上	39,286人	116%
	第2四半期：44,000人以上	37,397人	85%
	第3四半期：37,000人以上	35,271人	95%
	第4四半期：27,000人以上	人	%

4) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

5) 第3四半期までの達成率

2) 利用者満足度の向上

①「公園の運営」に関する利用者の「満足」の回答比率

ア 達成すべき質

- ・「公園の運営」に関わる「満足」の回答比率

堀金・穂高地区:年間：50%以上

第1四半期 45%以上、第2四半期 50%以上

第3四半期 55%以上、第4四半期 55%以上

大町・松川地区:年間：60%以上

第1四半期 65%以上、第2四半期 55%以上

第3四半期 65%以上、第4四半期 55%以上

イ 結果

- ・達成状況は、表2のとおりであり、達成すべき質は確保されている。
- ・平成25年度は、堀金・穂高地区では達成すべき質は確保されているが、大町・松川地区では第1四半期、第4四半期で目標を下回ったため、実施要項の規定に基づき、適切に業務を行うよう調査職員は受託事業者に指導を行った。
- ・受託事業者は、主な要因として近隣施設からの臭気流入(第1四半期)、大雪による影響(第4四半期)を挙げた上で、業務改善計画書において、利用者のニーズにあった体験プログラムの実施や、レストランにおいて季節限定メニューの販売などを計画した。調査職員が内容を承諾した上で受託事業者が適切に実施した結果、年間での達成すべき質は確保された。
- ・平成26年度は、第3四半期までの全ての期間で達成すべき質は確保されており、第4四半期も、公園資源を活かしたイベントを開催し、達成すべき質の確保に努めているところであり、今後も第4四半期及び年間の達成すべき質の確保が期待される所。

表2 「公園の運営」に関わる満足度の回答比率

	達成すべき質	平成25年度 ¹⁾		平成26年度 ²⁾	
		満足度	達成率	満足度	達成率 ³⁾
堀金・穂高地区	年間：50%以上	63.7%	127%	70.1%	140%
	第1四半期：45%以上	65.2%	145%	70.5%	157%
	第2四半期：50%以上	63.7%	127%	68.4%	137%
	第3四半期：55%以上	58.4%	106%	71.3%	130%
	第4四半期：55%以上	67.6%	123%	%	%
大町・松川地区	年間：60%以上	60.0%	100%	68.5%	114%
	第1四半期：65%以上	60.9%	94%	68.7%	106%
	第2四半期：55%以上	64.9%	118%	67.3%	122%
	第3四半期：65%以上	66.2%	102%	69.6%	107%
	第4四半期：55%以上	48.0%	87%	%	%

1) 平成25年度は、平成25年4月1日～平成26年3月31日の期間

2) 平成26年度は、平成26年4月1日～平成26年12月31日の期間

3) 第3四半期までの達成率

4) アンケート調査は、国土交通省関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所が対面式で実施

5) アンケート調査は、四半期毎に、無料開園日などの特異日を除く平日、休日を基本として実

- 6) アンケート有効回答数：平成 25 年度 2,258 回答、平成 26 年度 1,707 回答（H26 年 12 月 31 日まで）

②本公園の花修景に関わる満足度

ア 達成すべき質

- ・地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率
堀金・穂高地区：年間：60%以上
大町・松川地区：年間：55%以上

イ 結果

- ・達成状況は表 3 のとおりであり、年間の達成すべき質は確保されている。
- ・平成 26 年度は、第 3 四半期までの全ての期間で達成すべき質は確保されており、年間の達成すべき質の確保が期待される。

表 3 安曇野地方の地域特性を生かした植物管理の満足度

	達成すべき質	平成 25 年度 ¹⁾		平成 26 年度 ²⁾	
		満足度	達成率	満足度	達成率 ³⁾
堀金・穂高地区	年間：60%以上	62.6%	104%	69.8%	116%
大町・松川地区	年間：55%以上	60.6%	110%	72.9%	133%

- 1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間
- 2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間
- 3) 第 3 四半期までの達成率
- 4) アンケート調査は、国土交通省関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所が対面式で実施
- 5) アンケート調査は、無料開園日などの特異日を除く平日、休日を基本として実施
- 6) アンケート有効回答数：平成 25 年度 2,258 回答、平成 26 年度 1,707 回答

3) 情報受発信の充実

①マスコミによる報道件数

ア 達成すべき質

- ・マスコミによる報道件数：年間 1,176 件以上

イ 結果

- ・達成状況は表 4 のとおりであり、年間の達成すべき質は確保されている。

表 4 マスコミによる報道件数

	達成すべき質	平成 25 年度 ¹⁾		平成 26 年度 ²⁾	
		件数	達成率	件数	達成率
マスコミ報道件数	年間 1,176 件以上	1,824 件	155%	1,524 件	130%

- 1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間
- 2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

②ホームページ総アクセス数

ア 達成すべき質

- ・ホームページ総アクセス数：年間 530,000 件以上

イ 結果

- ・達成状況は表 5 のとおりであり、年間の達成すべき質は確保されている。

表 5 ホームページ総アクセス数

	達成すべき質	平成 25 年度 ¹⁾		平成 26 年度 ²⁾	
		件数	達成率	件数	達成率
ホームページ総アクセス数	年間 530,000 件以上	586,540 件	111%	538,585 件	102%

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

4) 多様な利用プログラムの提供

①地区別の年間体験プログラムの開催種類・延べ参加人数

ア 達成すべき質

- ・利用プログラム開催種類
堀金・穂高地区:年間 41 種類以上、
大町・松川地区:年間 55 種類以上
- ・延べ参加人数
堀金・穂高地区:14,000 人以上
大町・松川地区:23,000 人以上

イ 結果

- ・達成状況は表 6 のとおりであり、年間の達成すべき質は確保されている。

表 6 利用プログラム開催種数、延べ参加人数

	達成すべき質	平成 25 年度 ¹⁾		平成 26 年度 ²⁾	
		実績値	達成率	実績値	達成率
堀金・穂高地区	年間開催種類：41 種以上	68 種	166%	77 種	188%
	延べ参加人数：14,000 人以上	14,876 人	106%	35,490 人	254%
大町・松川地区	年間開催種類：55 種以上	81 種	147%	83 種	151%
	延べ参加人数：23,000 人以上	27,338 人	119%	25,914 人	113%

1) 平成 25 年度は、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の期間

2) 平成 26 年度は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の期間

(2) 個別業務の質

ア 達成すべき質

以下に示す個別業務の質を確保すること。

①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務

ア) マネジメント

多岐にわたる業務について適切な目標を定め、総合的な調整のもと相互連携を保ちつつ、実施の方法が決定され、さらに、これらの業務を総括し適切な進捗管理が行われていること。

また、入園料の徴収、国庫への納入などを行うことその他本業務が円滑に行われるための諸業務を実施すること。（詳細は、別紙-6「個別仕様書（企画立案）」を参照のこと。）

イ) 企画運営管理

公園利用者の満足度が高いレベルで保たれていることを目的とし、多種多様な公園利用者のニーズを適切に把握したうえで、指定された業務内容を実施し、公園利用者への適切な指導・サービス、利用促進のための行催事、公園ボランティアとの良好な連携に向けた支援・調整を行うとともに、常時適切な広報、情報発信を行い認知度を向上すること。（詳細は、別紙-6「個別仕様書（企画立案）」を参照のこと。）

② 施設・設備維持管理業務

ア) 維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等の性能が常時適切な状態で保たれているとともに、公園利用者の安全が確保されていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、建物、園路広場、遊具等の機能及び劣化の状態を調査するとともに、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置が判断・実行されていること。

イ) 清掃

快適な公園環境が保たれていることを目的とし、指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防すること。

③植物管理業務

本公園の意義や役割、機能を踏まえた演出を目的とし、公園全体の利用状況、景観、季節、及び生物の生育環境等に応じ、自生植物や園芸植物等の特性にあった年間管理計画を作成し、植物が常に良好な状態にあること。

④収益施設等管理運営業務

公園利用者へのサービス向上を目的とし、公園管理の包括的・統一的な管理のもと、公園運営維持管理業務との連携調整を図りながら、公園利用者の利便性が高まり、安全・快適かつ清潔な環境が保たれていること。また、自主事業を行う場合は、公園の利便性や魅力をより一層高めるよう適切に行うこと。

イ 結果

個別業務の質に関する履行確認は、運営維持管理者からの企画提案を含め、全ての事項を網羅した『履行確認書』を作成し、調査職員が項目に応じた履行確認を実施しており、計画通りの履行が確認されている。

履行確認書（抜粋）

個別業務の責		項目	作業・確認の内容 (業)	公署管理業務委託者における実施記録等の方法 ○て囲む 下線は実施記録に関する特定事項を記入 当月に実施していない項目は、「実施無し」と記入	発注者確認 項
第3章 園内巡視	園内巡視	巡視計画書の作成	巡視計画書(巡視ルート、点検項目) 作成の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 巡視計画書は4月に提出済み	値42条
		<通常巡視>点検確認、利用指導 及び作業	回数:日2回以上、点検確認結果、利 用指導及び作業の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 巡視日報に記載 10/16.22 現地確認(CPリク)	値43条
		<交代日巡視>	回数、人員配置状況、案内、誘導、監 理及び利用者指導の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 巡視日報に記載 10/16.22 現地確認(CPリク)	値44条
		<異常時巡視>火警発生時等の 状況確認	被害状況、利用障害状況及び大型 野生動物の動向記録の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 大型野生動物警戒期間につきセンサー測定記録簿を記載 10/16.22 現地確認	値45条
		警備隊等の異常発生時の報告	警備隊等作動時の異常の確認及び 報告の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 当月は実施なし	値46条
		巡視結果の毎日の記録	記録の実施(有無)	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 有り、巡視日報 10/16.22 現地確認(CPリク)	値47条
		第4章 常日対応	常日に対応した運営体制の確立	人員配置、駐車場等の運営体制の 確立の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 秋急ぎ作戦における駐車場誘導係員の配置 10/23 現地確認
第5章 あづみの学校(松 金・松川地区)管 理運営	エントランス	当該地域の地形、自然についての紹 介、安曇野地域の映像提供の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 10/7.9 現地確認(CPリク)	値53条	
	理科教室	魚類、は虫類の生体展示、実習・講 習会の開催の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値54条	
	社会科教室	安曇野地域の風習・文化についての 紹介、食文化体験プログラムの実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値55条	
	芸術教室	自然素材を用いたクラフト体験、季節 に応じた体験プログラムの実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値56条	
	多目的ホール	コンサート等各種催し物の企画・開 催、冬季の室内遊具の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値57条	
	ガイドツアー	動植物の解説ガイドツアー、セルフガ イドの実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値58条	
	公園ボランティアの活用	ボランティア活動人数、時間	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値59条	
	団体利用への対応	プログラムの実施、団体への利便性 提供の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値60条	
	第6章 森の体験会(大 野・松川地区)運 営管理	工房(クラフト体験)	木工系工芸の体験プログラム、石磨 等の体験プログラムの実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値62条
		食体験工房	食文化、アウトドア料理等の各種体 験プログラムの実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値63条
公園ボランティアの活用		ボランティア活動人数、時間	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値64条	
団体利用への対応		プログラムの実施、団体への利便性 提供の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値65条	
第7章 ガイドセンター (HH地区)運営管 理	各種観光情報の収集	パンフレット等の設置	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() インフォメーションコーナーにパンフレット等設置 9/7 現地確認	値67条	
	安曇野地域の観光相談への対応	観光相談対応の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() ガイドセンタースタッフによる案内 9/7 現地確認	値68条	
施設・設備維持管理業務					
第2編 建物維 持修繕 等	建物維持修繕 等	管理事務所修繕	巡回点検、小規模な修繕及び補修、 自動ドア保守点検、冬季水抜きの実 施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 随時用電球LEDへ交換作業(OM)9/18 400 購入 10/2 現地確認 大車庫の窓	値8条
		休憩所等修繕	巡回点検、小規模な修繕及び補修、 自動ドア保守点検、冬季水抜きの実 施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 大車庫の家デック浮き直し修繕(OM) 日々修繕している	値9条
		車庫・倉庫等修繕	巡回点検、小規模な修繕及び補修、 自動ドア保守点検、冬季水抜きの実 施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値10条
		便所修繕	巡回点検、小規模な修繕及び補修、 自動ドア保守点検、冬季水抜きの実 施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 駐車場トイレ呼び出し警報修繕(OM)9/25 10/2 写真1枚確認	値11条
		その他修繕	巡回点検、小規模な修繕及び補修、 自動ドア保守点検、冬季水抜きの実 施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()	値12条
		第3編 建物設 備維持 修繕 等	建物設備維持修 繕等	巡回点検、小規模な修繕及び補修、 等2回専門技術者の点検、法定点検 の実施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 空調設備修繕(インフォメーションセンター・大車庫の窓)(OM)9/18-29 大車庫の空気清浄フィルター部分清掃(OM)9/18
昇降機等設備保 守点検等	点検、小規模な修繕等、「建設保全 業務共通仕様書」に基づく報告の実 施	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他()		値15条	
消防設備維持修 繕等	巡回点検、小規模な修繕、補修等の 実施、大規模修繕の協議	現場確認/日時/実施状況等の記録書()/その他() 自主点検9月26日(HH・OM) 9/9 打ち合わせ報告		値16条	

(3) 業務に係る法令違反行為等の有無

本業務において、業務に係る法令違反行為はなかった。また、重大な事故発生や著しい業務の質の低下など、業務の適正かつ確実な実施を確保するために、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第 26 条における報告の徴収等及び同法第 27 条における指示等が必要な状況はなかった。

3. 実施経費の状況

1 実施経費の状況

(1) 公共サービスの実施に要した経費

	平成 25 年度～平成 27 年度	(参考)平成 24 年度実績
契約額(税抜き)	平成 25 年度： 390,057,626 円 1) 平成 26 年度： 386,905,044 円 平成 27 年度： 417,037,330 円 3 箇年度合計： 1,194,000,000 円	536,188,000 円
削減効果	▲146,130,374 円(▲27.2%) ²⁾	
供用面積	148ha	106ha
備考	○平成 25 年 9 月大町・松川地区 (25.4ha) ○平成 26 年 4 月堀金・穂高地区 (17.0ha) 追加供用	

注) 管理面積等の前提条件が異なるため、単純比較はできない。

1) 平成 25 年度における委託費の支払額は、平成 25 年度分に係る契約額と同額である

2) 平成 25 年度の削減額及び削減割合 (対平成 24 年度)

4. 受託事業者からの提案による実施事項

受託事業者からは、企画提案時及び業務履行中に、以下のようなサービス向上のための提案が出されており、これらの提案については、毎月開催される定例会 (調査職員と受託事業者等との定例の意見交換の場) 等で調整を行い、利用者サービスの向上に努めている。

<主な実施状況>

○平成 26 年度の企画提案実施状況

・さとやま楽校

堀金・穂高地区里山文化ゾーンの開園にあわせ実施するプログラムとして企画提案され、本年度はプレイベントとして実施している。安曇野の里山で育まれた文化・伝統を楽しみながら学ぶプログラムで、昭和 30 年代の安曇野の風土・文化の継承に寄与しているところ。プログラムは 3 種類あり、安曇野の里山保全について学ぶ「さとやま発展講座」(全 13 回)、安曇野の天蚕について学ぶ「やまこの学校」(全 6 回)、米作りや昔ながらの田園風景づくりを整備予定区域内で行う「田んぼの教室」(全 6 回)を計画し本年度 12 月末時点で、「さとやま発展講座」(全 13 回中 12 回実施 のべ 140 名参加)、「やまこの学校」(全 6 回中 6 回実施 のべ 75 名参加)、「田ん

ぼの教室」(全6回中6回実施 のべ65名参加)となっている。

・熱気球係留飛行搭乗体験イベント

現行業務受託事業者側からの提案により本年度7月19日(土)から11月16日(日)まで実施したものの。

大町・松川地区周辺に広がる樹海と北安曇の田園風景を熱気球上から楽しんでいただく体験イベントで、のべ2,830人の方にご利用いただいた。

本イベントの開催にあたっては、ツアー行程に本イベントを組み込んでいただくため、ツアー企画会社へのPRのほか、周辺宿泊施設への宿泊と一体化したパック企画の実施を観光協会に要請し、安曇野市、大町市の8つの宿泊施設に協力いただくことができ、地域との連携や観光振興にも寄与したところ。

○平成25年度の目標未達成を踏まえた平成26年度の企画提案の実施状況

・広報の展開

集客が見込まれる春イベントやゴールデンウィークの広報を早期に実施してきた。また、ゴールデンウィークに関しては、直前での新聞折り込み(県内32万世帯)や、地元紙への情報掲載などを実施してきた、その結果5月の入園者数は、堀金・穂高地区で46,175人(前年度比:12,071人増)、大町・松川地区で26,940人(前年度比:500人増)となった。その後の広報でも、首都圏鉄道会社とのタイアップなど積極的な広報を展開している。

・イベントの強化

安曇野の地域文化を学習・体験する場とした「さとやま楽校」を実施したほか、公園が有する資源を活用したプログラムや地域の歳時記に関する体験イベントを充実させている。

5. 総評

(1) 国営アルプスあづみの公園における運営維持管理業務の実施内容に関する評価

公園利用者数の達成すべき質に対する達成状況は、平成25年度においては、業務引継時の混乱による広報不足の影響などにより、目標を達成できていない四半期があるものの、受託事業者は実施要項に基づき要因分析と業務改善計画書を提出し、適切に業務を実施することで、平成25年度第4四半期と平成26年度第1四半期は目標を上回るなどの改善がみられた。

また、平成26年度第2～3四半期は、大町・松川地区及びその周辺地域でのクマの大量出没、御嶽山の噴火、長野県神城断層地震を起因とする風評被害や、最も集客を見込んだ12月の天候不順などにより、目標を達成できていないが、近隣の観光業者と連携して公園利用者数のさらなる獲得に向けた取り組みを進めている点は評価できる。

なお、公園利用者数の目標設定にあたっては、過去3箇年(平成21～23年度の実績平均)を根拠として設定しているが、平成23年度については、同年上半期に放映されたテレビドラマの影響で、公園周辺の観光客数の底上げ(対前年度比24%、約83万人増)がみられた一方、翌年度にはその後の反動が見られ、今回の未達の一因と考えられることから、次回の公園利用者数の包括的な質の設定にあたっては、このような特殊な要因の影響を受けていない年度のデータを用いる等の対応を検討する必要があると考えている。

受託者の取り組みとしては、毎月開催する定例会において調査職員と調整しながら改善すべき点の認識と改善策を講じてきたところであり、特に平成25年度に取組の遅れが目立った広報についても、戦略の見直しを行い、関係団体や地域と連携したPR活動など受託事業者のノウ

ハウを活かした新たな広報を展開している。

平成26年度は、堀金・穂高地区内の池を活用した水上アスレチックや大町・松川地区の近傍を流れる乳川を活用したイベントなど、当公園のコンセプトを守りつつ有するポテンシャルを活用した新たな企画を導入したり、大町・松川地区のイルミネーションイベント開催時期について、積雪が少なく公園利用者が多く見込める12月を中心とした期間に変更するなどの工夫を行っており、本公園の魅力を一層高めようとする取り組みは評価できる。

(2) 次期業務の実施に当たっての方針

民間競争入札の実施により、4者による競争が行われ、実施経費の削減(▲27.2%)ができた。また、達成すべき質も概ね達成されており、業務に係る法令違反や競争の導入による公共サービスの改革に関する法律第27条に基づく業務改善指示が必要とされる状況はなかった。これらを総合的に判断すると、本業務は民間競争入札によって良好な実施結果が得られたと認められ、さらに、実施状況について外部の有識者によるチェック体制を備えていることなどから、次期業務においては、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針(平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会)」に基づき、新プロセスへ移行した上で業務を実施することとしたい。

なお、次期業務の実施に当たっては、本業務の実施結果や、他公園における運営維持管理業務の実施状況等を踏まえ、手続の簡素化等を図るとともに、国営公園の管理の質の向上及び一層の民間事業者の参入の促進等のため、下記の改善を図る予定である。

1) 業務実施期間の改善

- ①業務期間を現在の3箇年から4箇年に延長する。
- ②次々期受託事業者が、業務開始から多客期(4~5月のGW等)までの間に十分な経験を積めるよう、次期業務期間を1月末まで(次々期業務開始を2月から)とする。

2) 業務の引き継ぎ事項の充実

次々期受託事業者へ引き継ぎを行う際に、必要な情報を円滑かつ適正に引き継げるよう、引き継ぎ事項をさらに明確化する。

3) 業務評価の導入

包括的な質の達成及び業務の確実な履行を促す観点から、次期事業から業務評価を導入し、その結果を次々期業務の入札時における評価に反映させる。

4) 企業及び配置予定者の業務実績に関する要件の緩和

入札参加資格に関する事項について、業務実績は過去10年の同種又は類似業務の経験を有することとしているが、その期間を過去15年に緩和する。

《別紙：包括的な質の実施状況》

1. 公園利用者数の確保

(1) 地区別の年間及び四半期ごとの公園利用者数

1) 堀金・穂高地区

【平成 25 年度】

年間：217,197 人

第 1 四半期：50,432 人

第 2 四半期：55,445 人

第 3 四半期：93,465 人

第 4 四半期：17,855 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：193,759 人

第 1 四半期：63,960 人

第 2 四半期：59,903 人

第 3 四半期：69,896 人

表 8 堀金・穂高地区 年度別・月別の公園利用者数比較（単位：千人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
堀金・穂高地区	H25年度	9	34	7	12	32	11	17	20	57	10	2	5	217
	H26年度	11	46	7	16	31	13	15	28	28				194

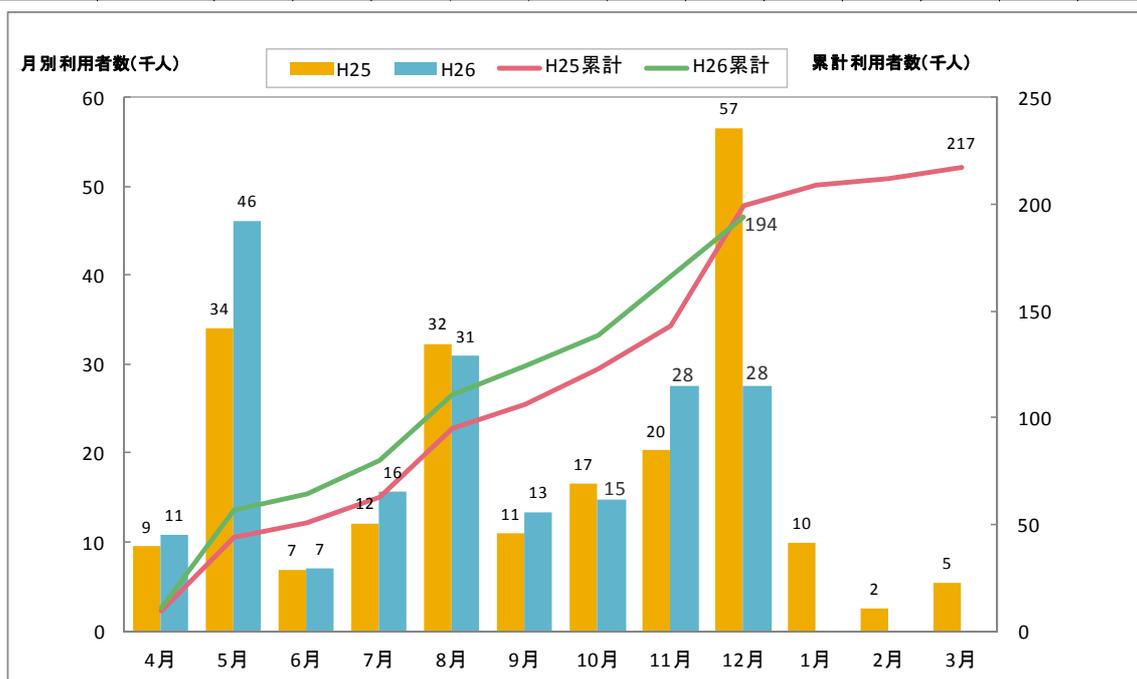


図 1 堀金・穂高地区 年度別・月別の公園利用者数

2) 大町・松川地区

【平成 25 年度】

年間：138,433 人

第 1 四半期：39,305 人

第 2 四半期：42,875 人

第 3 四半期：27,446 人

第 4 四半期：28,807 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：111,954 人

第 1 四半期：39,286 人

第 2 四半期：37,397 人

第 3 四半期：35,271 人

表 9 大町・松川地区 年度別・月別の公園利用者数比較（単位：千人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大町・松川地区	H25年度	6	26	6	10	24	9	16	8	3	7	11	11	138
	H26年度	6	27	7	7	22	8	12	14	10				112

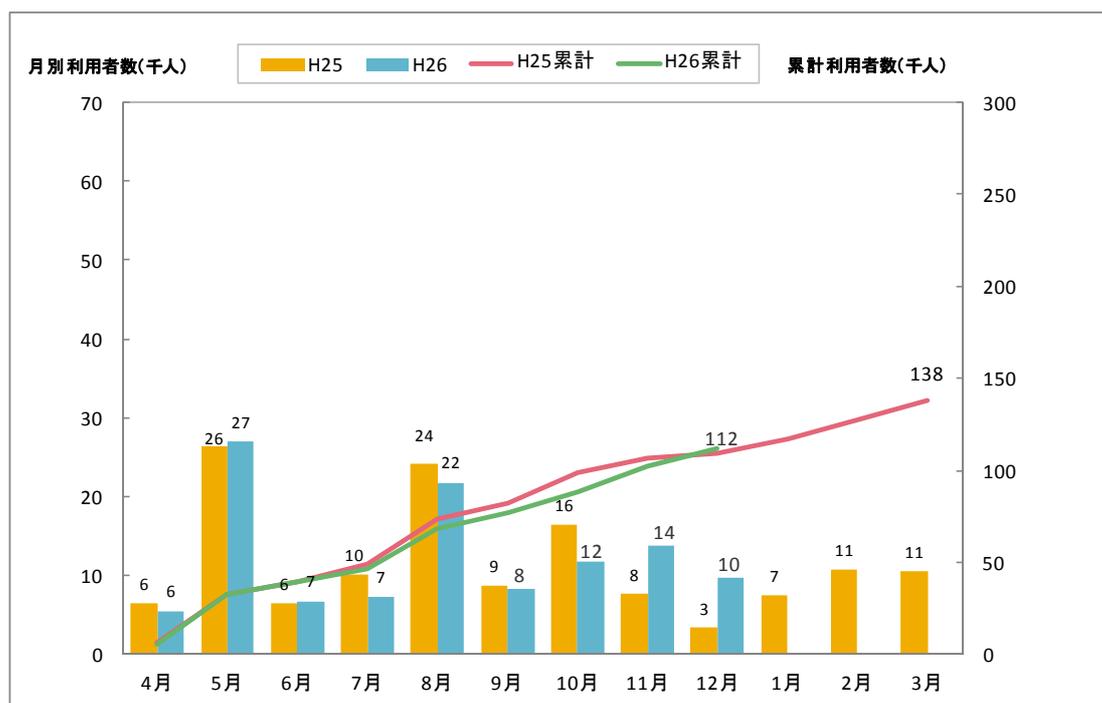


図 2 大町・松川地区 年度別・月別の公園利用者数

2. 利用者満足度の向上

(1) 地区別の年間及び四半期ごとの公園の運営に関する利用者の「満足」の回答比率

1) 堀金・穂高地区

【平成 25 年度】

年間：63.7%

第 1 四半期：65.2%

第 2 四半期：63.7%

第 3 四半期：58.4%

第 4 四半期：67.6%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：70.1%

第 1 四半期：70.5%

第 2 四半期：68.4%

第 3 四半期：71.3%

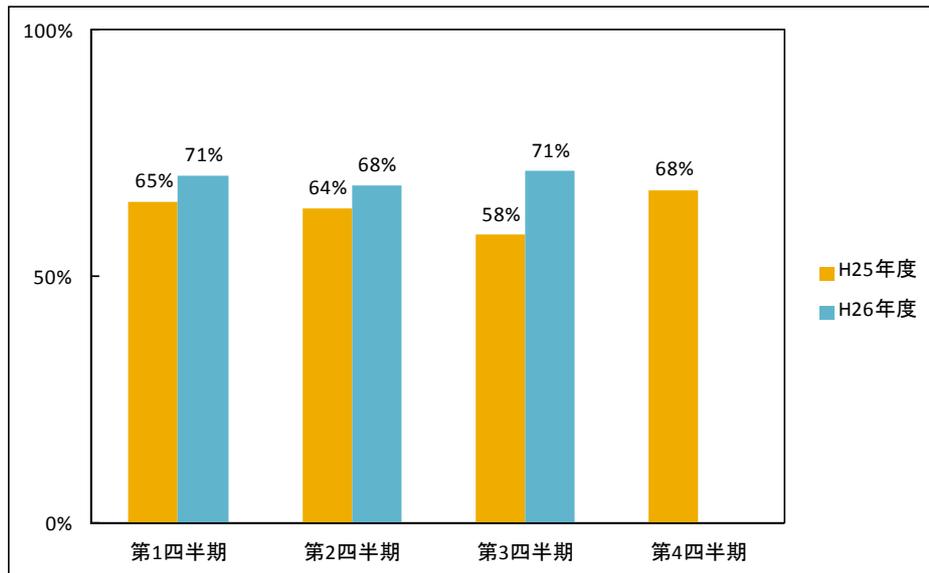


図 3 堀金・穂高地区 年度別・四半期ごとの公園の運営に関わる満足度（「満足」の回答比率）

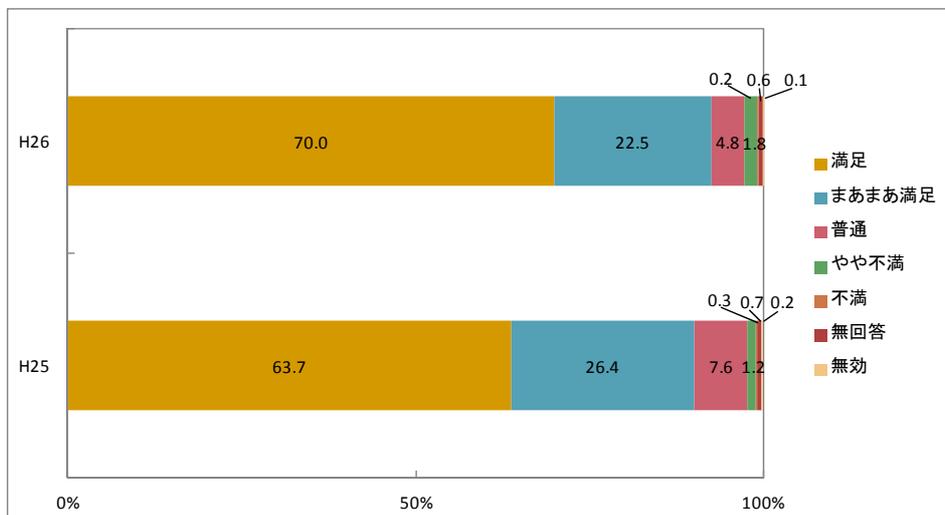


図 4 公園の運営に関わる満足度

2) 大町・松川地区

【平成 25 年度】

年間：60.0%

第 1 四半期：60.9%

第 2 四半期：64.9%

第 3 四半期：66.2%

第 4 四半期：48.0%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：68.5%

第 1 四半期：68.7%

第 2 四半期：67.3%

第 3 四半期：69.6%

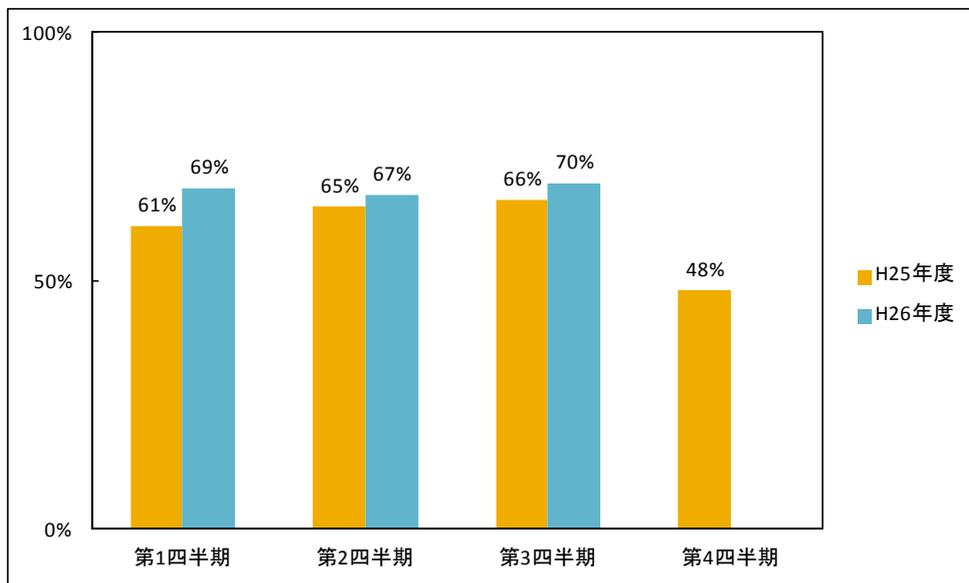


図 5 大町・松川地区 年度別・四半期ごと公園の運営に関わる満足度（「満足」の回答比率）

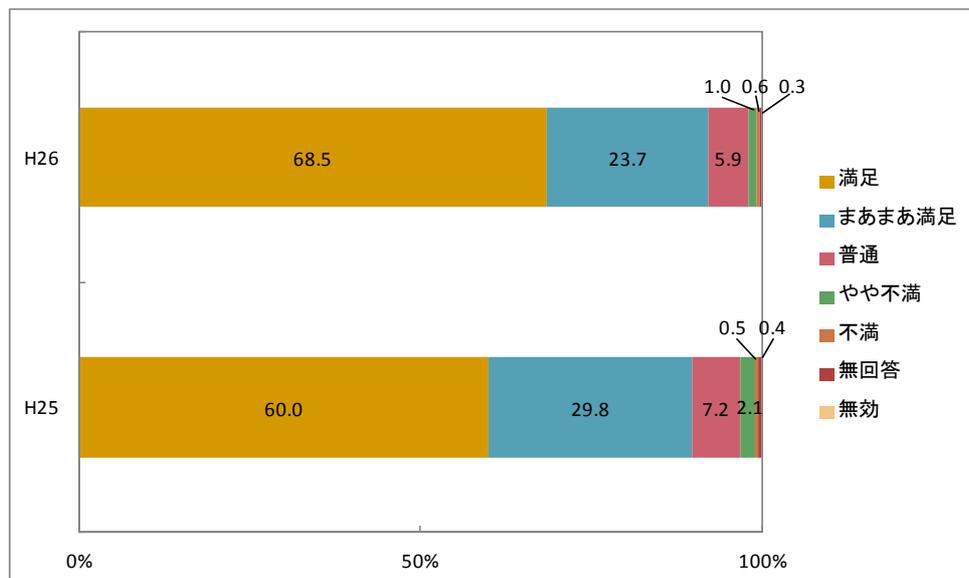


図 6 公園の運営に関わる満足度

(2) 地区別の安曇野地方の地域特性を生かした植物管理に関する「満足」の回答比率

1) 堀金・穂高地区

【平成 25 年度】

年間：62.6%

第1四半期：62.9%

第2四半期：67.0%

第3四半期：67.4%

第4四半期：53.1%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：69.8%

第1四半期：70.1%

第2四半期：70.4%

第3四半期：68.8%

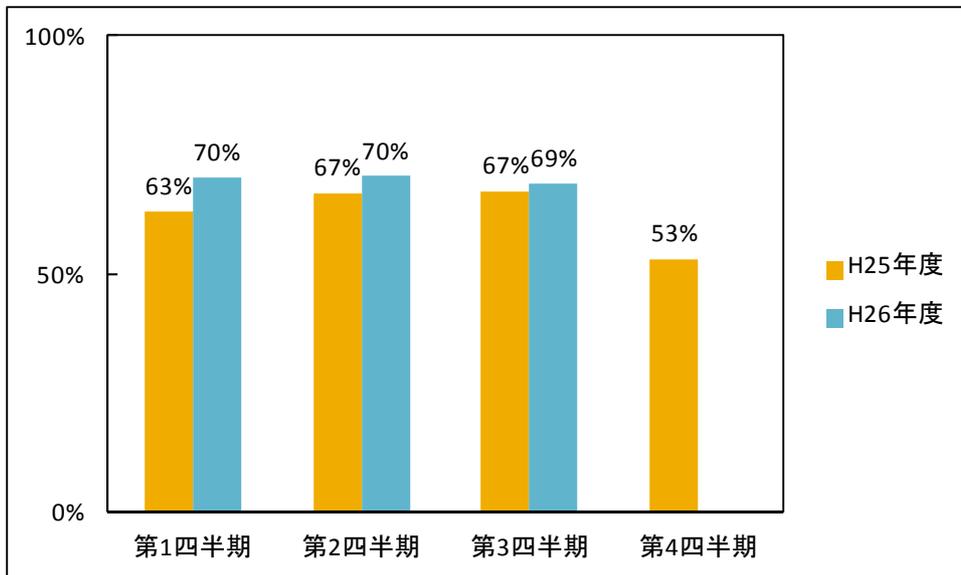


図 7 堀金・穂高地区 年度別・四半期ごとの植物管理に関する満足度（「満足」の回答比率）

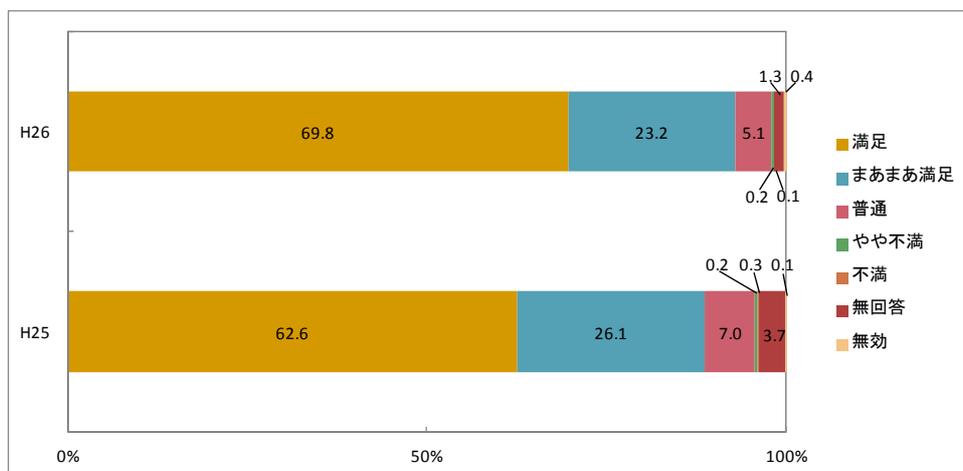


図 8 植物管理に関する満足度

2) 大町・松川地区

【平成 25 年度】

年間：60.6%

第 1 四半期：61.7%

第 2 四半期：71.4%

第 3 四半期：66.7%

第 4 四半期：42.4%

【平成 26 年度（12 月末時点）】

年間：72.9%

第 1 四半期：76.3%

第 2 四半期：71.9%

第 3 四半期：70.4%

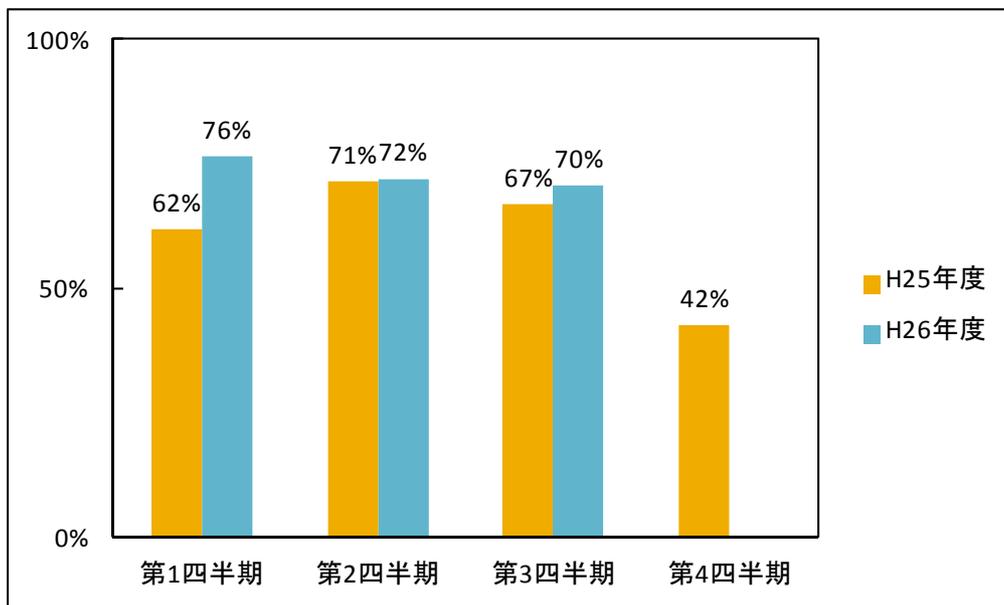


図 9 大町・松川地区 年度別・四半期ごとの植物管理に関する満足度（「満足」の回答比率）

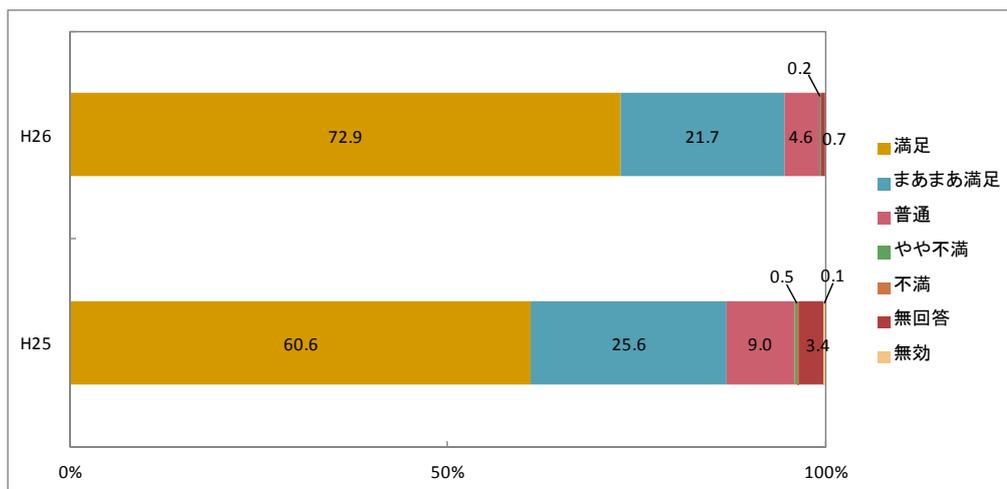


図 10 植物管理に関する満足度

3. 情報受発信の充実

(1) マスコミによる報道件数

【平成 25 年度】

1,824 件

【平成 26 年度（12 月末時点）】

1,524 件

表 10 マスコミによる報道件数

	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	その他	合計
H25	778	428	543	35	40	1,824
H26 (12月末まで)	461	578	423	23	39	1,524

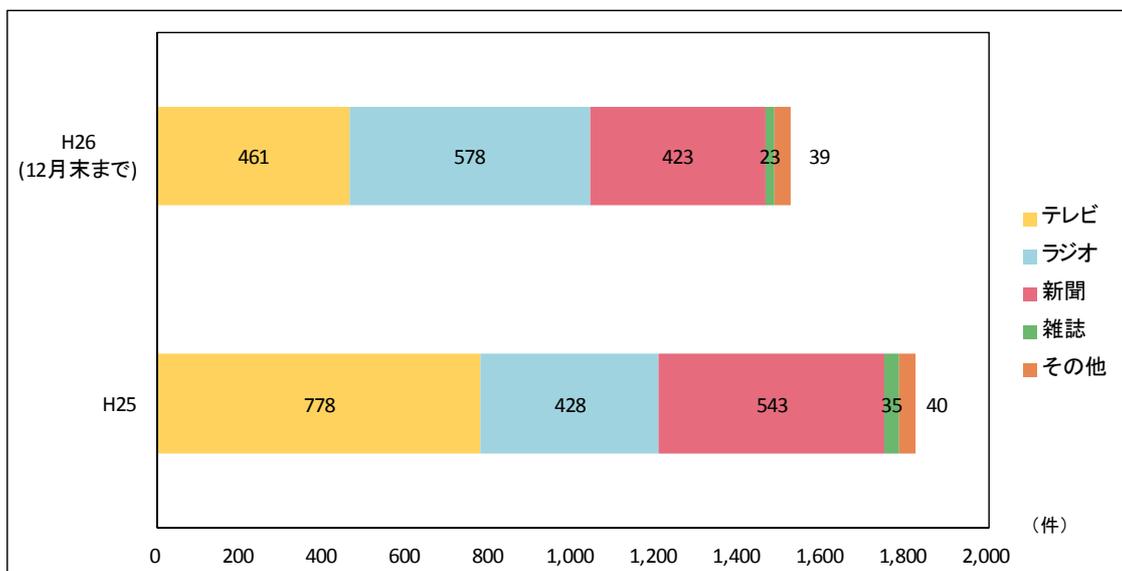


図 11 年度別・月別のホームページアクセス件数

(2) ホームページの総アクセス件数

【平成 25 年度】

586,540 件

【平成 26 年度（12 月末時点）】

538,585 件

表 11 ホームページの総アクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	41,398	51,821	36,682	51,148	63,108	47,164	53,467	52,801	69,389	42,404	37,667	39,491	586,540
H26年度	52,040	61,138	43,179	66,838	83,800	52,367	51,054	65,867	62,302	0	0	0	538,585

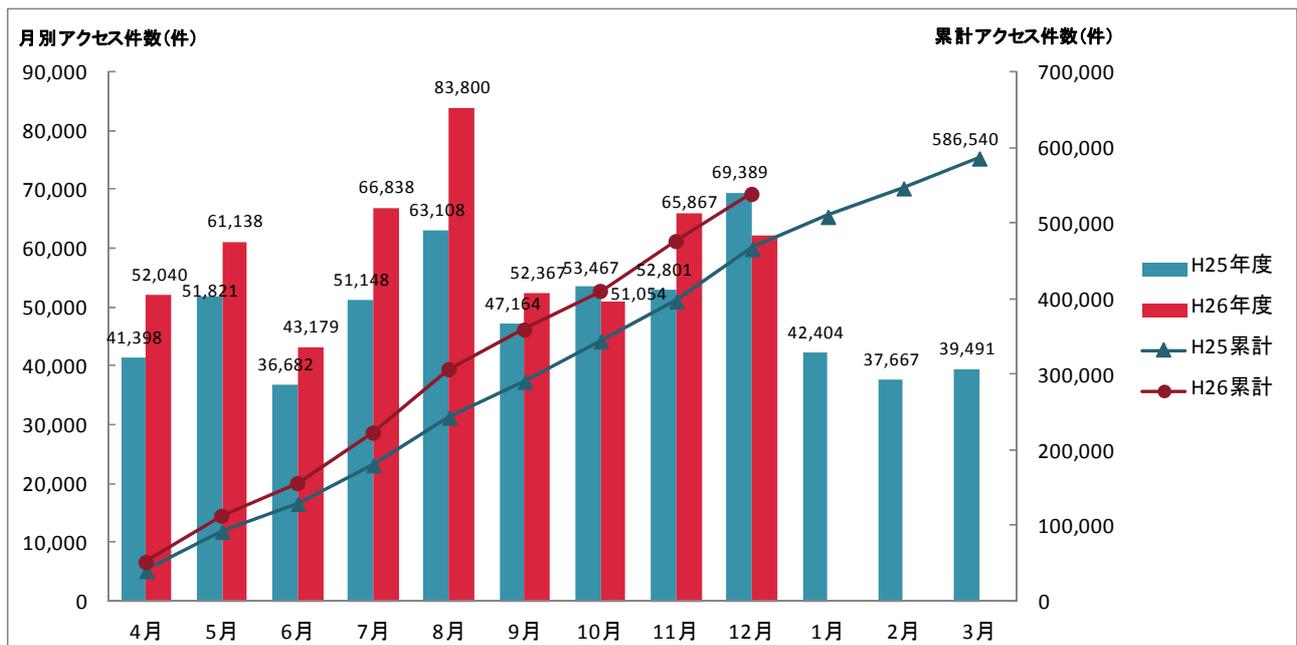


図 12 年度別・月別のホームページアクセス件数

4. 多様な利用プログラムの提供

(1) 地区別の年間体験プログラムの開催種類・延べ参加人数

1) 堀金・穂高地区

【平成 25 年度】

開催種類：68 種類

延べ参加人数：14,876 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

開催種類：77 種類

延べ参加人数：35,490 人

表 12 堀金・穂高地区 月別体験プログラムの開催種類・延べ参加人数

地区	年度	項目	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
堀金・穂高地区	H25年度	年間開催種類	24種			14種			16種			14種		
		延べ参加人数	1,229人	1,750人	1,007人	1,546人	4,096人	714人	1,423人	856人	376人	365人	263人	1,181人
	H26年度	年間開催種類	40種			19種			18種					
		延べ参加人数	1,345人	3,370人	2,983人	5,684人	13,038人	4,138人	1,864人	1,519人	1,549人			

2) 大町・松川地区

【平成 25 年度】

開催種類：81 種類

延べ参加人数：27,338 人

【平成 26 年度（12 月末時点）】

開催種類：83 種類

延べ参加人数：25,914 人

表 13 大町・松川地区 月別体験プログラムの開催種類・延べ参加人数

地区	年度	項目	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大町・松川地区	H25年度	年間開催種類	28種			18種			18種			17種		
		延べ参加人数	1,294人	4,118人	1,802人	2,859人	5,045人	1,970人	2,854人	1,990人	885人	1,191人	1,574人	1,756人
	H26年度	年間開催種類	45種			18種			20種					
		延べ参加人数	1,240人	5,106人	3,175人	2,049人	5,361人	2,586人	2,443人	2,673人	1,281人			